

## 平成22年度 事業計画

上田市地域振興事業団の設立趣旨及び寄附行為の目的に沿い、コミュニティの育成を図るとともに、地域住民の文化の向上と福祉の増進に関する事業を実施します。特に、公共施設の管理運営業務の受託を通して、地域交流活動や文化振興等地域社会の発展と住みよい生活環境の創造に寄与するため、各施設の設置目的に沿った特色ある事業を展開してまいります。

なお、上田市の合併協定書に記されている事業団・公社の統合に向けて、事務事業の調整を進めてまいります。

### 理事会、評議員会の開催

#### 1 理事会

##### (1) 定例会

- ・平成22年5月 平成21年度決算等の承認について
- ・平成23年3月 平成23年度事業計画、予算(案)等の承認について

##### (2) 臨時会

- ・事業団・公社の合併等について

#### 2 評議員会

##### (1) 定例会

- ・平成23年3月 平成23年度事業計画、予算(案)等の審議

##### (2) 臨時会

- ・事業団・公社の合併等について

### 主な事業

#### 1 公共施設の指定管理業務

- (1) 上田創造館の指定管理業務(上田地域広域連合)
- (2) 技術研修センターの指定管理業務(上田市)
- (3) 農林漁業体験実習館の指定管理業務(上田市)

#### 2 受託業務

- (1) 上田創造館こども未来21事業(上田地域広域連合)
- (2) マルチメディア情報センターの地域情報化業務(上田市)

#### 3 喫茶及び販売事業

##### (1) 喫茶事業

- ・上田創造館喫茶(コパン)
- ・マルチメディア情報センター喫茶(ほーむページ)

##### (2) 販売事業

- ・上田創造館の切手、たばこの販売
- ・農林漁業体験実習館の入浴用品等の販売

### 施設別の主な事業

#### 1 上田創造館

当館は、上小地域の児童科学館と地域のコミュニティ育成、芸術文化振興の複合施設として建設されました。科学館部門では、小中学校の天文、物理、生物等の科学教育の支援施設的な側面をもち学校利用が中心となっています。今後も設立趣旨に沿うよう鋭意努力してまいります。

4年目を迎える「上田創造館おもしろ科学少年団」の活動は地域に広く受け入れられ、現在6グループ100人の参加者によって、毎月1回の活動に取り組んでおります。平成21年度に新規に発足した中学生の科学クラブ「上田創造館サンデーサイエンス」は、現在17人の参加者で、月1回の活動を行っています。また、平成20年度に試験的に活動を行った「大人の科学体験クラブ」は、現在14名の参加者で、月1回の活動が定着しています。

科学少年団、上田創造館サンデーサイエンス、大人の科学体験クラブそれぞれが、昨

年8月の「上田創造館ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス」では、体験コーナーを設け、来館者と一緒に科学の不思議や工作に取り組み、来館者に対する指導的ボランティアとしての役割を担っています。特に科学少年団は地域での認知度も高く、ここ3年間の応募も非常に多く、平成22年度の団員募集では抽選を取り入れました。

また、昨年は、ガリレオが初めて望遠鏡で天体観測を行って400年目ということで、天文関係の催しを多数行いました。創造館の事業が国立天文台ニュースに2回にわたって取り上げられ、天文を通して国内関連施設への認知度向上に貢献いたしました。

ここ3年間は学校夏休み期間中の自主事業として宇宙・天文を中心に事業を行ってきましたが、平成22年度は、視点を180度転換して「ミクロの世界」を中心に事業展開してまいります。

平成21年度に実施した上田地域広域連合圏域での「天文巡回講演&望遠鏡工作教室」は各自治体で非常に好意をもって迎えられ、巡回講座の継続実施が要望されているため、電子顕微鏡メーカーとタイアップして「電子顕微鏡の科学教室」を巡回で行いたいと考えています。

この事業に付随して、最近の中学理科の教科書には電子顕微鏡で見た微生物の写真が掲載されていますが、先生方でも実際に電子顕微鏡を見たことが無いという状況も聞くので、上小理科同好会に呼びかけて「先生方の電子顕微鏡教室」も開催したいと考えています。

### (1) コミュニティ育成事業

上小地域を中心としたコミュニティ活動の推進を図ります。

親子ふれあい物づくり体験事業として、「ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス」の開催（本年度は、10回記念として3日間とし、3日目には講演会又は、サイエンスショーを開催）

お正月遊び大会の開催（年間の伝承遊び集大成として1月に開催）

各種教室の開催「きり絵教室、折り紙教室、多色刷版画教室（蔵書票）、伝承遊び、影絵教室」

七夕飾り、クリスマスの館内飾りつけの実施

きり絵展、蔵書票展、上田創造館利用文化団体作品発表会の開催

プラネタリウム星空コンサート

リラックスプラネタリウムコンサートの開催（星空と音楽をCDによって構成、対象は未就学児親子やこれから親になる男女等）

蚕の飼育

### (2) こども未来21事業・人材育成事業

上田地域広域連合圏域における学校、公民館などを拠点とする「巡回電子顕微鏡科学教室」の開催。圏域内で6～7箇所で開催。

学校の夏休み期間中8月「ミクロの世界展」の開催

子どもは天才講座の開催（講座制）

科学少年団活動の継続と充実

サンデーサイエンスの継続と充実

大人の科学クラブ継続と充実

創造館事業のボランティア発掘と養成事業

星空案内人（星のソムリエ）新規講座の開催と、準案内人のスキル向上「星空観望会ボランティアの養成事業」

### (3) 文化振興事業

地域の伝統・伝承的民俗行事等の紹介や教育、文化活動を支援し、地域の芸術文化の発展に寄与します。

地域に伝わり、伝承的財産として保存されている行事等の紹介や展示

「企画展 水と人々の生活展」「道祖神まつり展」「凧展」「しめ縄づくり」の実施

文化団体等との共催による美術展を開催し、展示施設等の有効利用と利用促進

「東信（上小）美術展」「農民美術作品展」「陶磁展」「香墨会書道展」「上小地域美術作品展」「上小地域水墨画展」「写友まゆ年度賞コンテスト写真展」の開催

- 児童生徒の芸術文化活動への支援  
上小地域小中学校児童生徒作品展（絵画・書道・立体作品）の開催
- (4) ソフト事業  
プラネタリウムや天体望遠鏡を活用した天文学習の開催と推進  
園児や小中学校の学習教室の開催  
学校週休2日制に伴う児童生徒の校外学習教室の開催（週末の理科室）  
各種パソコン教室の開催  
学校の理科教育支援施設としての利用促進
- (5) その他事業  
貸し館部門は、上田市内には事業、商用目的で使用できる施設が少ないことなどから安定的に利用があり、利用率は一定程度を維持しています。しかし、昨年来の経済不況を反映してか、有料利用に若干の陰りも見られ、利用収入は減少しています。今後とも、現状を詳細に分析しながら指定管理者として施設の適正管理、自主事業の充実、貸し館部門の利用促進に努めます。  
市立図書館の分室、学習室としての活用

## 2 上田市技術研修センター

当センターは、企業等が行う人材育成、異業種間交流、技術研修等の図ることを目的として設置されましたが、企業の研修等での利用が減少し一般利用が増加する傾向にあり、公民館的な利用が増加しています。このため、利用形態、利用状況等に応じた施設運営を行い、サービス向上と利用促進に結びつけたいと考えております。

平成21年度は、リーマンショック以降の経済状況を反映して、企業の研修は社外研修から社内研修に移行し、企業の研修利用が減少傾向にあります。とりわけ、企業の宿泊を伴う研修利用が減少しています。また、施設開設当初と異なり、市内においても安価で宿泊できる施設も存在するようになり、宿泊施設としての優位性も薄れてきています。このため、上田市では平成22年度は原則として宿泊施設を休止し、活用方法を検討していくことにしております。

## 3 農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）

当館は、山間の緑豊かな静けさの中、温泉資源を活用した農村と都市との交流拠点です。地下1,500mからの湯量豊富な天然温泉100%の源泉は肌がしっとりスベスベにする化粧水の湯として大変人気です。

しかし、入館者の割合に対して施設が狭いとのこと意見が多く寄せられていました。このため、上田市で露天風呂及び洗い場の増築工事を行います。これに伴い4月1日～8日までと5月の連休以降に臨時休館を予定しております。

ご利用の皆様には、臨時休館によりご迷惑をおかけしますが、職員一同、ハードとソフトの両面で皆様に満足していただける施設運営に努めてまいります。

- (1) 地域との連携を図る各種イベント等の実施  
（ほたる祭、七夕まつり、盆踊り大会、きのこ研修会、温泉まつり、新そば祭り、もちつき・しめ縄作り体験等）
- (2) 情報・文化の交流を深めるギャラリーの活用  
（写真展、絵画展、生け花展等）

## 4 マルチメディア情報センター（メディアランドUEDA）

「市民と行政がいつでも結ばれる情報快適都市・上田」を基本方針とする「上田市情報化基本計画」を踏まえ、地域情報化を推進する拠点として、市民ニーズを的確に捉えた事業の充実を図ります。

また、次代を担う児童生徒に対する情報モラルや情報活用能力の向上を図るため学校教育の情報化を支援するとともに、ネットワークセンターとしての役割の強化を図り、

情報化社会の利便性の向上に努めます。

(1) 人材育成事業

マルチメディア情報センターでは、情報技術を活用した表現力の向上や個性を引き出す事業を展開してきました。また、各種セミナーの受講者はこれまでの累計で5万3千人を超え、一般市民のICT（Information Communication Technology）活用の底上げに大きな役割を果たしています。さらに、近年の情報化の進展に伴い社会生活が便利になった反面、個人情報への漏洩や情報を悪用した違法行為、有害情報が氾濫する中、様々な情報を正しく判断する能力の育成が必要となっています。

学校教育の情報化並びに、ICTを活用した学習の支援  
情報モラル、セキュリティ、情報活用能力の向上を図るための支援  
地域企業のICT高度活用等の支援  
ICTを活用した表現力の育成や生涯学習の支援  
ICTスキルアップの学習機会の提供による就労支援

(2) 地域個性の情報発信

これまでに蓄積されたコンテンツを情報発信するWebサイトは「内容が充実した全国屈指のサイト」として評価されており、地域の個性を記録、保存することに力を入れています。それらを有効かつ多用途に利用することにより「活力ある上田」を積極的に情報発信する。

合併4年目を迎える中で、旧丸子町、真田町、武石村に関する記録映像のアーカイブ化を進め、情報発信により新市の一体感の醸成に寄与する。

地域の貴重な文化資産を記録、保存し、多用途に活用  
蓄積されたコンテンツを活用した魅力的で個性あふれる情報の発信  
センターの特性であるマンガを切り口としたデジタルコンテンツ創作支援セミナー（マンガ倶楽部）の開催  
上田市教育委員会との強調による映像コンテンツの創作、普及を目的とした「自主映画制作コンテスト」の実施

(3) 情報活用支援センター機能の充実

国は2010年の次世代ICT社会の実現に向けた中期ビジョンを策定し、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークを簡単に利用した便利な社会を目指しています。上田地域の高度情報化施設としてネットワークの中心となるマルチメディア情報センターの一層の機能強化を図り、情報技術を活用する支援センターとしての機能を充実させてまいります。

市民団体との連携による効果的な情報発信  
市民ICT相談の充実  
教育系ネットワーク（うえだ学びの森ネット）等の活用

(4) 緊急雇用対策に呼応した自主セミナーの開催

厳しい雇用環境など地域課題に対応して、雇用対策に向けた自主セミナーを上田市と協調して開催します。

(5) その他

施設の利用者増を図るための積極的な広報活動を行うとともに、映像の上映会やイベントを開催します。また、「出前ときめきのまち講座」等により施設の存在意義を高めてまいります。